

【研究費区分】：ミニ研究環

【研究代表者所属】：人文科学研究科

【研究代表者氏名】：西山雄二

【研究代表者氏名フリガナ】：ニシヤマユウジ

【研究代表者職】：准教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

阿部彩 首都大学東京・人文科学研究科・教授

Michael Lucken フランス国立東洋言語文化大学・日本学研究センター・所長

綾部真雄 首都大学東京・人文科学研究科・教授

大杉重男 首都大学東京・人文科学研究科・教授

山本潤 首都大学東京・人文科学研究科・准教授

Jocelyn Groisard 首都大学東京・人文科学研究科・准教授

Darin Tenev ソフィア大学・比較文学学科・准教授

【研究環組織名】：

【研究環 HP（*本研究環組織の HP を作成している場合は、その URL を記入してください。）】

【研究環の活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（600～800 字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

フランスおよびブルガリアにて日本文化に関するセミナーとシンポジウムを実施し、本学教員らが日本をめぐる社会分析、近代文学、比較人類学、貧困問題などに関する研究発表を英語で披露した。本学の人文・社会系教室による、日本文化・文学・思想をめぐるこうした分野横断的な共同は、本学人文・社会系教室の国際拠点形成への第一歩をなすものと言える。

2017年11月、ブルガリア・ソフィア大学にてシンポジウム“Creation and Destruction of the World”を開催し、本学の教員5名が参加した。2018年3月、フランス・国立東洋言語文化大学（イナルコ）にて、阿部彩の講演会「日本の子どもの貧困」を実施した。成果の一部は、本学人文科学研究科の紀要『人文学報』にて公表された。

本研究では、人文・社会系教員が教室の枠を越えた分野横断的な共同研究を実施し、フランスとブルガリアとの研究交流を促進することで、国際的な拠点形成の第一歩を達成することができた。本研究は単発的な学術交流に終わるものではなく、中長期的な交流を見据えた上で、イナルコおよびソフィア大学との研究交流の充実、都市外交人材育成基金の活用拡充に向けた実効的な波及効果を及ぼす。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

The University of Sofia – Tokyo Metropolitan University Joint Symposium “Creation and Destruction of the World”, The University of Sofia (St. Kliment Ohridski), 2 November 2017.

-Yuji NISHIYAMA, « Before the Door in the Land of the Rising Sun: Jacques Derrida in Japan »,

-Jocelyn Groisard, Catastrophe and Cyclical Time in Ancient Thought

-Masao AYABE, Reorientation of Engagement: On Fluctuations of “Normalities” in Anthropology

-Jun YAMAMOTO, Memory and Oblivion. Apocalyptic Structure formed in the Nibelungen-Book.

-Shigeo OSUGI, A Spectral Catastrophe: Japanese Literature and Philosophy after “March 11th”

-Leo Schloendorff, The End of the End. Apocalyptic Thinking in a Postmodern Context

・阿部彩講演「日本の子どもの貧困」、INALCO、2018年3月8日。

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

Yuji NISHIYAMA, « L'adresse de l'entre-nous : l'interprétation plastique de Hegel chez Jean-Luc Nancy », *Les Cahiers philosophiques de Strasbourg, Jean-Luc Nancy: penser la mutation*, éds par Jérôme Lèbre, Jacob Rogozinski, n°42/2017, pp. 127-137.

Yuji NISHIYAMA, “What remains of Philosophers’ Reflections on University? ”, *Tetsugaku: International Journal of the Philosophical Association of Japan*, No. 1, 2017, pp. 92-106.

アレクサンドル・コイレ「嘘をめぐる省察」西山雄二・大江倫子訳、『多様体』第1号、2018年2月。

ジャック・デリダ×ミカエル・ベン＝ナフタリ「アウシュヴィッツ以後の脱構築」西山雄二・渡名喜庸哲訳、『人文学報』、2018年3月。

サミュエル・エスティエ「ウエルベック批評の十年」八木悠允・西山雄二訳、『人文学報』、2018年3月。

【学会会議開催実績報告】

・The University of Sofia – Tokyo Metropolitan University Joint Symposium “Creation and Destruction of the World”, The University of Sofia (St. Kliment Ohridski), 2 November 2017.

・阿部彩講演「日本の子どもの貧困」、INALCO、2018年3月8日。

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

・平成28-30年度科研費 国際共同研究加速基金（国際共同研究加速強化）「啓蒙期から現代に至るカタルストロフィの思想と表象に関する総合的研究」

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・なし

【受賞等】

・なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

・なし

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

・なし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名,所属,金額(円))

・西山雄二(研究代表者)、人文科学研究科、800千円